

【2017年度 理事長所信】

一般社団法人 下妻青年会議所
第39代理事長 菌部 正博

【はじめに】

私菌部正博は、幸せです。何不自由なく親に育てていただき、親の会社を引き継ぎ、人並みの生活を送っていた時に、青年会議所に出会いました。そして入会し多くの先輩・メンバーと出会い、たくさんの学びをいただき、私自身少しずつ進化させていただいたと強く思っております。青年会議所運動は、私の人生の分岐点であり、その青年会議所運動に深く感謝しております。

時代は絶えず変化し続ける中で私たち青年も進化し続けます。その進化し続けるには前向きに生きていくことが、必要不可欠と考えております。我々青年はもっともっと前向きに、Positive Change し、青年会議所運動や私生活を送る中で意識して進化することが必要と考えております。

また「多くの不幸は『～してくれない。』の考えから生まれる」このような考えを取り払い、「何とかなるさ」ではなく、「何とかする・何とかしてやる」という強い気持ちを持てるように意識改革し、事業を通じて発信していくことが明るい未来・地域の活性化につながっていくと確信しております。

1 未来を変える会員拡大

近年、下妻青年会議所は茨城ブロック協議会内でもトップクラスの会員拡大に成功しています。また、新入会員も生き活きと運動していますが、卒業予定者が多いために会員減少の危機的未来は変わりません。青年会議所入会に足踏みし、時を得て入会したメンバーが Positive Change して楽しそうに運動しています。そして「もっと早く入会していればよかった」という声も多々あります。そう言う声は、私たち現役メンバーの至らない点であると思います。

青年会議所運動の良さを分かりやすく、明確にプレゼンテーションできるよう勉強する必要があります。

人の力は限りなく、人は一人でも多いほうが組織に活気が出ます。そして活気が出ると一人ひとりの進化がより大きくなると思います。そして活気がある団体は魅力があり、さらに人が集まりやすくなります。人数が多くなってきた今こそ、活気ある・魅力ある団体になってきた今こそ、みんなで勉強して、本年度も30パーセント以上の拡大を行います。

2 ひとつづくり運動

青年会議所に入会する目的として自己啓発という会員は少なくありません。青年会議所

運動は、家族・会社を犠牲にすることが多いと思うが、家族や会社を納得させるには、ビジネスで結果を出すことが、最善だと思います。ビジネスで成功できるような勉強・メンバー同士切磋琢磨して、メンバーみんなの会社を右肩上がりの経営にできるようになるには、まず人として、人間力を高める必要があります。

すべてにおいて汚染するのは簡単だが、汚れたものをきれいにろ過することは大変なことでもあります。私は人間も汚染する（悪くなる）のは簡単だが、人間力を高めることは大変だと思っています。ですが、人の心を動かし大変な思いをこそ、人は大きく変わります。一人ひとりが大きく変わり、魅力ある人間になっていく必要があります。本年度も自己啓発に関する事業を行い、人間力を高め、人として大きく変わり、経営力向上に関する事業を実施して、メンバー一人ひとりの事業所を右肩上がりの経営にしていきます。また人は進化し結果が伴って来れば、自信がつきます。リーダー育成に関する事業を実施して組織を引っ張っていく・周りを巻き込んでいける人財に成長していきます。組織はトップが変わればすべてが変わるといいます。大半のメンバーは自社で社長になる方たちです。リーダーシップ溢れる頼もしい人財に成長し、家族や従業員を牽引していく人財を育てます。

3 まちづくり運動

下妻青年会議所は、毎年まちづくり事業を実施しており、その年の色で様々な事業を行って来ました。定住人口増加をプロジェクトにした事業や、街をきれいにする事業、行政や一般市民を巻き込み、私たちの思いを発信してまいりました。一昨年前の鬼怒川水害では、突然の予期せぬ出来事でありましたが、素早いボランティア活動は、異業種の団体でもある私たちだから人・物・金を集めることができ、迅速に対応できた事を今でも明確に覚えております。昨年の熊本地震にあっても、私たちの団体としてどのように協力できるかを明確にして、素早い対応をさせていただきました。これこそ「瞬断」だと思いました。

私たちの住むこの街を私たちの団体としてどのように協力していくことが最善なのかをもう一度しっかり勉強して、行政や、他団体とも仲良くまちづくり運動をして、コミュニケーションをとりながら、明るく楽しい地域づくりをしていきたい。

また自分たちの住む町を自分たちできれいにする事業は、とても素晴らしいことでもあり、当たり前のことでもある。私たちメンバーが先頭に立って行政や一般市民を巻き込み、町をきれいにしていきます。ボランティアで町をきれいにするにより、人の心も洗われると思います。これは自己啓発にも繋がり、行政や一般市民を巻き込むことにより、町もクリーン・心もクリーンな地域を目指し、事業を通し発信・伝えていきます。

4 青少年育成運動

青少年たちも時代によって変化しています。勉強・遊びにしても私たちの時代とは全く違います。私の青少年時代は、毎日外で走り回り、鬼ごっこや野球やサッカーなど、夕方

暗くなるまで、幼馴染と遊んでいました。自分たちでいろいろ工夫しながら遊んでいました。今大人になって、発想力であったり、応用力であったり、想像力などは、少年時代に楽しく遊ぶために試行錯誤したことが、活着していると思います。現代は少子化と物騒な世の中でインドアなイメージが強く感じられます。外で過ごすのは、部活やスポーツ少年団等の決められたことを頑張るようなイメージが強く感じ、個人個人の得意分野のレベルは高くなっているように感じます。外で考えて遊ぶという私たちの時代のことも伝えながら、未来ある青少年たちが、何年たっても心に残るようなことを伝える事業を開催いたします。また継続事業といたしまして、オセロ大会・第33回下妻青年会議所旗争奪学童野球大会・第7回わんぱく相撲下妻場所を今までの大会を勉強しながら、また一つ進化した大会を開催し、夢と希望溢れる青少年育成運動を行います。

5 下妻青年会議所40周年への準備

歴代の先輩方が築いてきた下妻青年会議所は、2018年40周年を迎えます。素晴らしい40周年を迎えるには、下妻青年会議所の歴史を徹底的に勉強する必要があります。下妻青年会議所が、どのように立ち上がり、歴代の理事長や先輩たちがどのような思いで、青年会議所運動をしてきたのかを勉強し、そして今後45周年・50周年に向けてどのような運動をしていくのかの方向性を決めます。また下妻らしい素晴らしい40周年を迎えられるよう、メンバーの意識を高めOBの先輩方とたくさん交流して勉強させていただき、しっかりと準備していきます。

6 最後に

1日は24時間・1分は60秒・これは、全世界共通であり皆平等です。人間は生まれてきてから、1秒ずつ死に向かってカウントダウンされています。この当たり前のことを何気なく過ごしてしまうのか、時間の大切さを感じながら、人生を充実させるかは、自分次第です。青年会議所は40歳までであり、生まれてきてから1,261,440,000秒で卒業を迎えます。青年会議所運動は、率先して行動すればするほど、多くの出会いがあり、たくさんの学びがあります。「今」この時間を0にして2017年31,536,000秒をメンバー一人ひとりが有効な時間を過ごし、素晴らしい気づきを得て頂き全員で進化していきたいと思えます。また人は笑顔が素敵であり、笑顔は、周りも明るくし、周りの人の心も癒してくれる。笑顔は、平和の象徴であると思えます。つらい時ほど笑顔で自分を発信していくことで、進化のスピードが上がっていくと思っています。人は進化していくことで、生きていく喜びを勉強していくのだと思えます。是非生まれてきたことに感謝して、人間として、この地域に生まれてきたことに感謝して、1秒・1秒を大切にまず自分を変え **Positive Change** する。そしてその志を一人でも多くの人たちに伝えることによりこの地域が、そしてこの下妻青年会議所が、また一歩進化していくと確信しています。

「みんな笑顔で行こうよ。2017」